

立命館大学 OIC 総合研究機構 サステナビリティ学研究センター

(独)環境再生保全機構「環境研究総合推進費(S-13)」プロジェクト

# シンポジウム 「里海の未来」

2018年1月12日(金)14時30分～18時00分

立命館いばらきフューチャープラザ(立命館大学大阪いばらきキャンパス B 棟)

1 階「カンファレンスホール」

**参加無料、事前申し込み制(先着 100 名さまに達し次第締切)**



左:岡山県備前市の日生地区(瀬戸内海) 右:石川県七尾市の七尾湾

日本は海に囲まれ、これまで海と共に生きてきました。海と私たちの接点になる沿岸海域の中でも、里海は、古くから水産・流通をはじめ、文化と交流を支えてきた大切な海域です。高い生物生産性と生物多様性が求められ、陸地という里山と同じように、人と自然が共生する場所でもあります。しかし、人口減少・高齢化による「消滅地域」の拡大が予測されており、沿岸海域、そして里海も例外ではありません。

今回のシンポジウムでは、ご来場のみなさまとともに、里海の未来について議論することが出来ればとを考えます。

主催:立命館大学 OIC 総合研究機構 サステナビリティ学研究センター

(独)環境再生保全機構「環境研究総合推進費(S-13)」テーマ 4

共催:公益財団法人 国際エメックスセンター 後援:水資源・環境同好会

※立命館大学大阪いばらきキャンパスは、キャンパス内全面禁煙となっております。

また、駐車場・駐輪場の用意がありませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

JR 茨木駅(東口)より徒歩 6 分、阪急電車・大阪モノレール南茨木駅より徒歩 15 分、

京阪枚方市駅・阪急南茨木駅より、京阪バス「9 号系統」で立命館大学(岩倉公園前)下車すぐ

※本シンポジウムは、(独)環境再生保全機構・環境研究総合推進費(S-13)の

研究成果を、社会のみなさまに還元する目的で実施しております。

プログラム案(11月30日現在) 総合司会:吉岡 泰亮(立命館大学 OIC 総合研究機構・専門研究員)

時刻	内容
14時00分	開場および受付開始(会場入口前)
14時30分~14時40分	開会挨拶ならびに 環境研究総合推進費(S-13)テーマ4「沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示」の概要紹介 仲上 健一 (テーマ4代表、立命館大学政策科学部特別任用教授)
14時40分~16時00分	【第1部】研究成果の報告とそれを受けた討論 ①沿岸漁業の現状と新たな可能性 小幡範雄(立命館大学政策科学部教授) ②生態系サービスの経済評価-レント評価を中心に-(仮) 高尾克樹(立命館大学政策科学部教授) 討論者: 日高 健 (近畿大学産業理工学部教授) 印南 敏秀 (愛知大学地域政策学部教授) 清野 聡子 (九州大学大学院工学研究院准教授)
16時00分~16時10分	休憩
16時10分~17時50分	【第2部】パネルディスカッション ①事例紹介 田中 丈裕氏(NPO 法人 里海づくり研究会議 理事・事務局長) 谷内 博史氏(のと島クラシカタ研究所 主任研究員) ②パネラーおよびご来場のみなさまとの議論 パネリスト: 田中 丈裕氏、谷内 博史氏 柳哲雄(S-13 プロジェクトリーダー、国際エメックスセンター特別研究員) 桜井良(立命館大学政策科学部准教授) コーディネーター:仲上健一
17時50分~18時00分	閉会挨拶: 柳哲雄(S-13 プロジェクトリーダー、国際エメックスセンター特別研究員)

※18時15分~20時00分、研究交流会を開催します(キャンパス内もしくは近隣、会費4,000円予定)

参加のお申し込みについて(電子メールまたはFAXでお願いします)

参加をご希望の方は、お名前、ご所属、メールアドレス、FAX番号(FAXでお申し込みの方のみ)、研究交流会への参加希望の有無を明記の上、下記の担当者までお申し込みください。なおメールの場合、スムーズな受付のため、件名を「1/12 シンポジウム参加申込」として頂きますよう、お願い申し上げます。

本件担当:立命館大学 OIC 総合研究機構 サステイナビリティ学研究センター 専門研究員 吉岡泰亮  
電子メール: tyt14500@fc.ritsumei.ac.jp FAX 番号:072-665-2565